

エネルギーモニタリング エネルギーデータの 収集と監視を デジタル化でシンプルに



ミュンヘンにある国営の醸造所、Hofbräuhaus社は、地球環境と顧客に対して責任を負い、他の企業の模範となる特別な義務があると考えています。

「FieldXpertを使用すれば、どこからでも現在のエネルギー利用データに簡単かつ迅速にモバイルアクセスでき、さらに、トレンド分析や機器の設定も可能です。また、Memographと組み合わせることで、フィールド機器レベルまでデジタル化の利点を活用することもできます」

Silvio Di Tano 氏
エレクトロニクス部門責任者
Staatliches Hofbräuhaus München



Hofbräuhaus社は、醸造所の環境目標に沿った蒸気、水、圧縮空気の使用量削減の可能性を見出し実現するために、Endress+Hauserのサポートにより、デジタル化されたエネルギー監視システムを導入しました。

お客様の課題 この国営醸造所は、熱消費率を4%、製造時に発生するCO₂排出量を30%抑制したいと考えています。Hofbräuhaus社は、自社の気候変動排出量を分析したドイツ初の醸造所です。個々の対策はすべて、環境マネジメントシステムに束ねられる予定です。データを統合する自動化コンセプトを開発する必要がありました。そのコンセプトは、エネルギー利用データのシームレスな収集と、データへのモバイルアクセスを確実に実行できるように設計されています。

Endress+Hauserのソリューション このソリューションは、フィールド機器とプロセス制御レベル間のインタフェースとして機能し、一般的なフィールドバスをすべてサポートするデータマネージャMemograph Mが中心となっています。Memograph Mは実際のセンサの測定値をPROFINET経由で制御システムへ転送します。

Memograph Mは、演算機能により熱量を直接計算し、Ethernet TCP/IP経由でソフトウェアプラットフォームに送信します。統合されたWebサーバーにより、オペレータはフィールド機器レベルまでリモートアクセスし、パラメータの設定やデータの保存を簡単に行うことができます。Memograph Mは、データ統合とエネルギー計測のための最もシンプルで費用対効果の高いソリューションです。

FieldXpertを使用して、エネルギーデータ監視システムへのモバイルアクセスが可能です。この堅牢な産業用タブレットPCには、すべての重要なプロトコルのデバイスドライバライブラリがプリインストールされており、クリックするだけで自動的に機器を検出し、WLANまたはBluetooth経由ですべてのEndress+Hauser機器に接続します。つまり、プラント内のどこからでもエネルギー使用量を確認し、トレンドを表示して不調時の原因分析を開始することができるのです。

結果



FieldXpertを使用すれば、オペレータはどこからでもエネルギー使用量の確認や、不調時の原因分析を行うことができます。



Industry 4.0が組み込まれたスイッチキャビネット: Memograph MはWebサーバーを内蔵しており、オペレータはリモートアクセスによって保存データの呼び出しや機器パラメータの設定を行うことができます。



エネルギーを使用するすべての装置には、エネルギーメーターが装備されています: Promag H電磁流量計と温度センサーで、モルトグラインダーに使用される水を混合弁で監視しています。

まとめ 製品にかかわらず、醸造から充填まで、連続的な監視によってエネルギー使用量の透明性を確保することができます。デジタル化により、監視は既存のインフラに簡単に統合されました。国営企業であるHofbräuhaus社は、地球温暖化防止とデジタル化の両面において、模範となることを目指しています。

www.addresses.endress.com